管理ソフトのダウンロード　初期設定

setup フォルダにある UsbSetting をダブルクリックで起動

●管理ソフト UsbManage.zip をデスクトップにダウンロード

●UsbManage.zip を解凍します。利用制限はありません。本体 USB と同じバージョンの管理ソフトを使う必要があります。

●管理パスワード”admin”は必ず変更して下さい。

●管理パスワードを設定するとダウンロードメニューは非表示になります。

管理ソフト UsbManage ダウンロード

https://www.abroad-sys.com/USB/V7/UsbManage.zip
※先に設定する USB を挿入し C ドライブから実行して下さい。
※管理ソフトは全製品 DC/HC/HP 共通です。

使い方

1．設定する USB メモリを挿入して UsbStart が見える状態で管理ソフト UsbManage を C ドライブ側から実行する。

2．管理パスワード（初期値”admin”）を入力する

注意：設定するときは UsbStart を実行しない事。保護領域が表示されている場合は TOOL フォルダにある UsbBack を実行して非保護領域に切り替えて下さい。自動起動の UsbQuickStart がセットアップされていると設定ができませんのでアンインストールされます。

忘れる前にする事　初期設定

管理パスワードは初期値 admin を必ず変更して下さい。しかし、管理パスワードを忘れてしまうと調べる方法が無く再設定ができません。

管理パスワードの保存

●設定が終わったら UsbManage の最初の画面（製品情報タブ）の [設定レポート] ボタンで設定情報の **UsbSetting.txt** を保存できます。

●パスワード設定画面にメールアドレスの登録があります。ロストパスワード機能で予め設定されている管理者メールアドレスに管理パスワードを送信する事ができます。

UsbManage

Lost password
予め登録されているメールアドレスに設定情報を送信できる

管理者のメールアドレス登録

管理者メールアドレスは事前に設定して下さい。

●LostPassword で指定できるメールアドレスは事前に設定されてい管理者メールアドレスのみです。

●複数の管理者メールアドレス登録はカンマ区切りで設定します。詳しくは PDF マニュアルの”パスワード設定”をご参照下さい。

●LostPassword はメールでパスワードをお知らせする機能ですが、企業内等ご利用環境によってメール送信が抑制されている事があります。

禁止設定はチェックするだけ

コンテンツを守る保護設定

コピーガードは管理ソフト UsbManage の「禁止設定」タブにあるチェックボックスの ON・OFF で行います。

書込み禁止の前に先にコンテンツを入れないと追加できなくなるよ！

ファイルコピーを禁止する、印刷を禁止するなどのチェックボックスを有効にして下さい。ただし、この禁止設定は USB 利用中はパソコン操作全体に適用されます。例えば、印刷を禁止するとパソコンの操作で全ての印刷が禁止されますので**必要最低限の設定**を行って下さい。

[簡易設定] ボタンを利用すると推奨値が設定できます。

設定の流れ

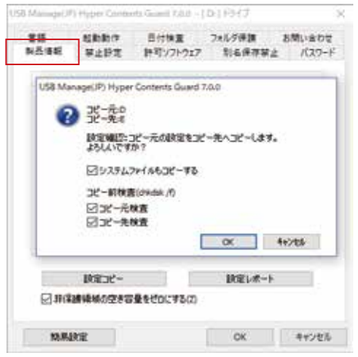
先にコンテンツを入れる→簡易設定ボタン→各詳細タブを確認する

製品情報タブは、貴社名やコンテンツ名に変更して下さい。

設定コピーで同じ USB を作る　USB2本差し

便利な機能で設定ミスを減らす

同じ USB を作る場合は、**先に全ての USB にコンテンツをコピーして後から設定を行います**。設定情報のみコピーする機能を使うと便利です。同じ設定 USB を設定する場合ミスが発生する可能性があります。設定コピー機能を使うと作業時間の短縮や設定ミスを防ぐことができます。



設定コピーの条件

●管理パスワードが同じ又は、コピー先が”admin”になっている事

●UsbQuickStart がセットアップされていない事

●既にコンテンツが保存されている事

設定コピーで出来る事

・非保護のファイルコピー
・バージョンの統一等
・設定情報のコピー
・破損検査 (Chkdsk)
・ボリューム名のコピー
・コピー終了後のコピー先 USB の安全な取り外し実行

[操作]①コピー元の USB を挿入して管理ソフト UsbManage を起動→②最初に表示される画面の [設定コピー] ボタン→③コピーする USB メモリを挿入→④USB が認識される事を少し待ってから [OK] ボタン→設定がコピーされ、コピーが終わったら USB 取り外しが行われます。→コピー先の USB を抜いて次の USB を挿入→④を繰り返す。
詳しくは PDF マニュアル参照

設定の流れ　初期設定

①管理ソフトのダウンロード（上記）
②設定する前にコンテンツを入れる　←重要
流れ：UsbStart→[START] ボタン→「しばらくお待ちください」の表示→USB を開く→ファイルをコピーする→TOOL フォルダ UsbBack を実行する
③管理ソフト UsbManage で設定する

初めてご利用の場合は
P.8〜P.12 を参照
リファレンスマニュアルは全てを読む必要は無いよ。わからない箇所だけ読んでね

リファレンス PDF マニュアル

データコンテンツガード https://www.abroad-sys.com/USB/DC7.7.pdf
ハイパーコンテンツガード https://www.abroad-sys.com/USB/HC7.7.pdf
ハイパープラス https://www.abroad-sys.com/USB/HP7.7.pdf
※PDF マニュアルは各 USB バージョン毎に用意しています。USB 本体バージョンと同じバージョンのマニュアルを参照して下さい。

困った　先に設定をしてしまいファイル追加ができない場合は、管理ソフトの「禁止設定」タブで**コピー禁止**と**書き込み禁止**のチェックを外して下さい。コンテンツを入れた後に設定を戻します。

製品種別　DC / HC / HP
DC : DataContentsGuard　HC : HyperContesntsGuard　HP : HyperPlus

最新バージョンの確認

自動更新機能で USB メモリを最新バージョンにする事ができます。新バージョンでは安定性の向上、新機能、不具合の改善などが提供されます。

自動更新 ON の場合 30 日間隔でチェックされます。

●今すぐ更新チェック
上記のバージョンチェックを ON にして [START] ボタンをクリックすると今すぐバージョンがチェックできます。

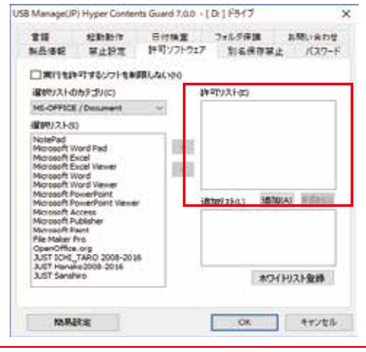
※設定で自動更新 OFF の場合や上記画面が表示されていないときは [SHIFT] キーを押しながら UsbStart をダブルクリックで起動します。更新ソフトをダウンロードして適用する方法もあります。
https://www.abroad-sys.com/USB/2004/10_20H2.html#update

設定しないとファイルは開けない

許可ソフトウェアーの登録

本製品は USB メモリにアクセスするソフトを制限する機能があります。USB メモリに保存されているファイルを開く為には、許可ソフトウエアーの設定が必要です。管理ソフト UsbManage→[許可ソフトウェア] タブ→選択リストより許可リストに登録します。

USB メモリ内から実行するソフトは許可ソフトとして自動登録されます。追加設定は不要です。製品 (HC,HP) によって、全てのソフトの USB アクセスを許可する事ができます。(実行を許可するソフトを制限しない)



データコンテンツガード (DC) は、”実行を許可するソフトを制限しない”という機能がありません。付属の ClickView の場合不要ですが、通常は利用するソフトを”許可リスト”に登録して下さい。

見えないフォルダとは

利用者が直接開かないファイルは見せない方が安全です。
ハイパーコンテンツガード（HC）、ハイパープラス (HP) には指定フォルダを見えなくする機能があります。ファイルが表示されていない場合、ファイル選択ができないのでコピーもできません。ファイルは見えないフォルダに保存します。この見えないフォルダは、管理ソフト UsbManage の”フォルダ保護”タブで設定します。フォルダ保護はデータコンテンツガード (DC) にはありません。

●フォルダ保護はエクスプローラーに表示されていないだけでフォルダは存在しておりソフトウェアーアクセスは可能です。

●禁止設定を OFF にして保護をする事もできます。

●ファイルが見えてもコピー禁止有効の場合コピーできません。保護を強化する場合も利用できます。

フォルダ保護を設定した場合、フォルダが表示されていませんのでファイルがコピーできません。ファイルを開くときは、付属の ClickView を利用します。又は、PDF のリンク設定でメニューを作成します。

ClickView（クリックビュー）

USB メモリ内蔵のコンテンツビューワーです。自動でメニューを作成します。パソコンソフトに依存する事なく対応ファイルを開く事ができます。別名保存や印刷機能がありませんので禁止設定を減らして他操作への影響を軽減します。